

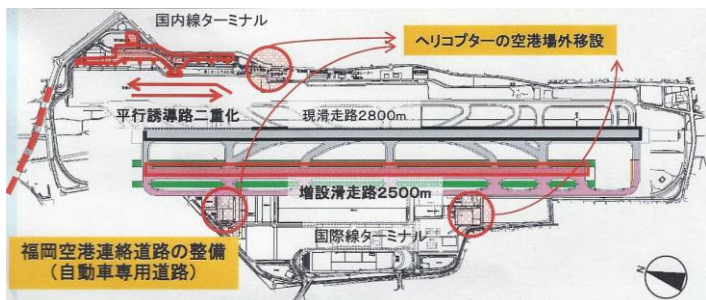
# 福岡県の新年度予算「皆様の生活・暮らしをもっと便利に、快適に、豊かに！」



福岡県の拠点駅である西鉄「薬院駅」の高架橋脚耐震工事は2年目となります。←



県立「大濠公園」内にある「日本庭園」玄関の門柱と案内板を建て替えます ←



全国一利便性の高い「福岡空港」がさらに便利になります。↑国内線ターミナルビルの改築は2019年3月完成予定。駐機場の拡幅により、遅延の防止となります。→福岡都市高速を空港に乗り入れます。



←天神にある「県立美術館」の老朽化に伴い、「新県立美術館整備検討費」を計上。改築の検討、建設地の候補など、幅広い議論が行われます。

## 『明治日本の産業革命遺産』が世界文化遺産に登録！

ドイツ・ボンで開催された「第39回ユネスコ世界遺産委員会」において、我が国が世界文化遺産に推薦していた『明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業』の審議が行われ、7月5日、「世界文化遺産」に登録されることが決定しました。

九州初の世界文化遺産登録であり、本県にとって大変嬉しいニュースです。県民の皆様とともに心から慶びたいと思います。

今回、「世界文化遺産」に登録された産業革命遺産群は、福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島、山口、静岡、岩手の8県11市にある23施設で構成されています。

福岡県内では、北九州市八幡東区の「官営八幡製鐵所」（現新日鐵住金：旧本事務所、修繕工場、旧鍛冶工場）、中間市の「官営八幡製鐵所遠賀川水源地ポンプ室」、大牟田市の「三池炭鉱」（宮原坑、万田坑、専用鉄道敷跡）、「三池港」（閘門）が登録されました。

今議会の代表質問では、会派として知事に世界文化遺産ならびに関連遺産群の今後の活用について質問しました。今回登録された遺産群はもとより、おしくも登録から外れた関連遺産についても、しっかりと保存を図り、今後、観光や地域活性化などに活かして参ります。



↑大牟田市「三池港」の閘門（こうもん）前。  
この閘門は、潮の干満に合わせて開閉します。